結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会事務局発行
第七号　発行日平成十八年一月二十三日
甲府市北口一―二―十九
甲府地方法務局人権擁護課内

師走の街にパレード
人権週間イベント

十二月四日から始まった人権週間は、一九四八年の十二月に国連会議において世界人権宣言が採択されたのを記念して人権尊重の思想高揚のために、毎年さまざまな啓発活動が行われている。山梨県人権擁護委員連合会では、今年も昨年に引き続いて、甲府市街でのパレードを実施した。

一日人権擁護委員に委嘱されたタレントのさかなクン、ヴァンフォーレ甲府の選手三名、それに城北幼稚園の園児と先生方を交えて、風船や旗を持った擁護委員百十二人が、甲府駅前から平和通りを行進した。

人権週間について、今年は県の啓発活動ネットワーク協議会が山梨日日新聞に大々的に広告を出し、人権意識高揚を訴えたことは特筆すべきことであった。広告には、人権週間の意義、人権擁護委員の果たす役割が詳しく説明され、山本栄彦県知事、平野俊夫甲府地方法務局長、丸山公夫県連会長のそれぞれのメッセージが掲載された。

各市町村においても、例年のようにこの期間中に特設人権相談所を開設したり、駅頭、街頭で啓発物品を配布するなどの活動がなされた。広報車で市内を巡回したり、電光掲示板に人権週間であることを表示した所もあった。

人権週間のパレード実施にあたっては、実行委員会を早くから立ち上げて、その委員会が中心になって準備をするように努めてきました。実行委員の一人である篠原昇委員に準備の様子などを書いていただきました。

十二月四日、人権週間のメインイベントとしてパレードが行われました。今年は各協議会から実行委員が選出され、内容の検討、準備を行うこととなりました。

第一回実行委員会では、内容について基本的に昨年同様とし、一日人権擁護委員には、さかなクン、ヴァンフォーレ甲府の選手五名を、また、マーチングを城北幼稚園児にお願いすることにしました。さかなクンにはエクラン、山交でも啓発をしてもらうことなど、当日の細かな日程や周辺箇所との折衝の担当などを決めて動き出しました。

第二回実行委員会では、大方の準備が整ったことを確認しましたが、ヴァンフォーレ甲府のJ1入れ替え戦が視野に入ったため、選手の派遣が困難との情報が入り、スケジュールの変更も考えなければならない状況でした。しかし、結果的には選手三名が派遣されることとなったのでした。当日は心配された天気も何とか持ち、計画通りにパレードが進行しました。委員の皆さん、協力してくださった方々にお礼申し上げます。

土肥事務局長より

お陰様で人権パレードは大成功でした。特に、一日人権擁護委員、城北幼稚園、甲府警察署、甲府駅、デパートを担当した、人権擁護課と実行委員の皆様、お疲れさまでした。

J1昇格を控えたヴァンフォーレ甲府、さかなクンの人権擁護PR、保護者と一体となった活動の城北幼稚園、日曜日にも拘わらず全面協力をいただいた甲府警察署、また、横断幕、懸垂幕、特設相談とサイン会の会場のすべてに協力をいただいたJR、そしてデパートなどに感謝しています。パレードの成功はひとえに、それらの団体、機関との事前折衝に当たってくださった委員の皆様のご苦労によるものと感謝でいっぱいです。

人権作文参加校93%

第二十五回全国人権作文コンテスト山梨県大会の表彰式が、十二月十日に行われた。今年は県内の中学校の九十三%が応募した。全国平均五十一%を大きく上回っている点、熱心な取り組みの成果と言えよう。

内容的には、「いじめ」が最も多く、子どもにとって身近で深刻な問題であることが窺える。しかし、公表するには問題のある作品もあり、県の作文審査会においても、作品の公表を巡って真剣な論議が交わされた。

委員研修会報告

県連の第一回研修会が十月二十五日に北杜市で、第二回研修会が十一月二十二日に市川三郷町で開催された。

第一回研修会は、事務手続き、委員の職務などの具体的な内容で、特に、相談票の開示請求ということがあり得るので、書き方について注意があった。また、関東ブロック大会の報告が県連副会長の早川陽一郎委員によってなされた。

第二回研修会では、「認知症」「財産・遺言」「高齢者虐待」の三つのテーマに基づいて事例研究を行った。活発な意見交換がなされ、充実した研修であった。

なお、第三回の研修会は二月七日、玉穂生涯学習館で講師横塚文子氏（東京都連人権擁護委員）による講演会の予定。

県民の日の啓発活動

十月二十九日、富士北麓公園で県民の日フェスティバルが開催され、県ネットの人権啓発活動が行われた。丸山県連会長をはじめ、都留協議会の人権擁護委員八名が参加した。

当日は朝八時五十分に市役所に集合、十時より、県主催の開会式が行われた。出席者は県会議員、近隣市町村長などでにぎわい、盛大であった。委員は、県と都留支局の用意した啓発物品を来訪者に配布した。途中から降雨が激しくなったため、予定時間より早めに終了した。

甲府市の小瀬公園でも、例年のように啓発活動を行った。

「種をまこう」の活用

昨年十二月末までに「種をまこう」の紙芝居を使った人権出前教室が、子どもの人権専門委員を中心に四つの小学校で行われた。各地区の委員も多く参加協力して子どものこころの教育に役立つ実践をしている。児童館において小学校低学年を対象に紙芝居をしたり、児童と保護者に人権啓発のビデオを見せる授業なども行われた。

風船が縁

二〇〇一年六月に甲府市の琢美小学校の生徒が飛ばした「人権の花」の風船が、童話作家岩崎京子さんに拾われ、それが縁で昨十一月に同校で講演会が開かれたとのこと。新聞の嬉しい記事でした。

退任された委員の方々

平成十八年一月一日付けで次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。

（敬称は略させていただきます。）

有泉喜弘（豊富村）矢崎静夫　石川宏子（南アルプス市）小松美智子（小淵沢町）深沢岩雄（増穂町）

なお、北村一郎委員（大月市）飯高恭一委員（芦川村）は十月にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

事務局から

☆協議会の研修会予定

甲府協議会　二月二十二日　玉穂町
峡南協議会　二月十五，十六日　下部ホテル

☆人権作文、人権の花運動について、各中学校、小学校への依頼を二月に行います。担当委員のご協力をお願いいたします。

編集後記

今年度も残り僅か。木の枝が少しずつ伸びてゆくように、運営がより自主的なものとなることを願っています。そのために「結い」に出来ることを示唆していただけるならば幸いです。

委員から一言

出前教室に参加して

三井節子

担当者から「登場人物の気持ちを考えて」「自分だったらどうする？」という二つの問題が提起され、ビデオ鑑賞に入りました。心を考える難しい問題も、担当者の見事なテクニックが反映され、答えが次々と。満足する子どもの顔、感心する親の顔、まもる君たちに歓声をあげる無邪気な顔。思いやる心を考えはぐくむ、楽しい三十分でした。